

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どんな活動も意欲的に取り組んだ。
- ・意欲的に植物を育てたり、虫を見付けたりする児童が多く見られた。
- ・活動の中で、気付いたことを絵や言葉で表現できた。

(2) 課題

- ・ねらいに沿った活動を行っているが、表現力や思考力が十分に育っていない。
- ・気付きを自分の言葉で表現できるが、自分の思いを文章化できない児童がいる。
- ・活動の中で、自分たちと生活との関わりについて十分な気付きに至っていない。

2 授業の分析

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・活動や体験を自分なりにまとめることに苦手意識をもっている児童がいる。	・活動や体験を通して、気付いたことや楽しかったこと等を自分の言葉で表現できない児童がいる。	・学習に主体的に参加できていない児童がいる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことのまとめ方を見る、さわる、におうなどを使うことを教師が提示し、自分なりにまとめることができるようにする。 ・活動の中から出てきたものを上手く教師がまとめ、児童の知識としていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく表現するために、観点（大きさ、高さ、形、色、数、手触り等）を示し、具体的な表現方法を指導する。 ・児童が学習カードで表し切れない部分をICT機器等で補い、文章で表せない気付きも映像で表すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近なものを題材にした環境づくりをし、興味・関心がもてるようにしてしてから、授業を始める。 ・気付いたことを基に考えたり、生活に生かしたりできるように、見付ける、比べる、例える等、多様な学習活動を行う。